

しなののうた

人生は薔薇色なりと胸躍る華やぎしころ遙かはるかに

l.MI

杉田小百合

しなののうた

数株のそのひと株は形見なる父の紅薔薇咲き継ぎており

杉田小百合



しなののうた

紅薔薇を見るたび父の眼差しが浮かびて
私の背を押しくるる

l.MI

杉田小百合

しなののうた

刺おおき薔薇の剪定でこずれど花の数だけ元気をもらおう

杉田小百合



しなののうた

極めしはクリーム色の香高き薔薇に満たされひと日の過ぎぬ

l.MI

杉田小百合